

千葉大学環境 ISO 学生委員会のメンバーが来訪しました

令和 8 年 9 月 14 日、千葉大学環境 ISO 学生委員会のメンバーが岐阜大学を訪れ、岐阜大学環境サークル G-amet 及び名古屋大学環境サークル Song of Earth との学生交流会を開催しました。交流会では、各大学の環境活動に関する紹介や意見交換、キャンパスツアーを行い、学生同士が互いの取組について学び合いました。

千葉大学環境 ISO 学生委員会は、約 250 名が所属する大規模な学生組織であり、大学の環境マネジメントシステム（EMS）を支える重要な役割を担っています。環境目標や実施計画の原案作成、研修の実施、内部監査への対応などに取り組むほか、エアコンフィルター清掃、放置自転車の再利用、古本・古着の回収・譲渡、森林保全や海岸清掃、コンポスト活動、子ども向け環境教育など、学内外で幅広い活動を展開しています。

交流会では、各大学ならではの特色ある活動について理解を深めるとともに、清掃活動やリユース活動など共通する取組についても情報交換を行いました。活動を進める上での工夫や課題、学生団体の運営方法などについて活発な意見交換が行われ、参加した学生たちにとって新たな視点や気づきを得る貴重な機会となりました。互いの活動から学び合うことで、今後の活動の発展や学生の視野の拡大が期待されます。

翌 15 日には、中部電力株式会社に環境講義「地域と環境 SDGs」をご担当いただいている一環として、株式会社 JERA 碧南火力発電所の見学が実施され、千葉大学環境 ISO 学生委員会のメンバーも参加しました。

碧南火力発電所は、愛知県碧南市の南部にあり、石炭火力としては国内最大の発電所です。株式会社 JERA では、2050 年に事業から排出される CO₂を実質ゼロにすることを目指す「JERA ゼロエミッション 2050」に取り組んでおり、碧南火力発電所では、その実現に向けてアンモニアの燃料利用の商用化に取り組んでいます。見学では、石炭火力発電所における燃料アンモニアを利用した発電の仕組みや火力発電所の施設などについて説明を受けたほか、車窓から実際に商用化に向けて建設が進められている燃料アンモニアタンクなど関連施設を見学しました。学生たちからは多くの質問が寄せられ、エネルギーの安定供給と脱炭素化の両立に向けた最先端の取組を学ぶ機会となりました。



学生交流会の様子



碧南火力発電所見学の様子